

令和7年6月10日
DX推進担当部

生成AIの機能拡張について

1 主旨

新たな行政経営への移行実現プランの取組み「区の情報学習した生成AIチャットボット(RAG Bot)の構築及び検証」の一環として、Teamsから利用する機能体験用チャットボットを庁内公開する。今後、実用面からの検証や類似業務への展開など、機能拡張に向けて取組む。

2 内容

別紙「生成AIの機能拡張について」のとおり



生成AIの 機能拡張について

令和7年6月10日

DX・地域行政・公共施設整備等推進特別委員会

DX推進担当部

生成AIの活用 今までの取り組み内容

令和5年度から実証研究を開始し、今までに以下の機能について職員が利用環境を内製開発し、庁内に展開してきた。

R6.1



Hideki

Teamsから利用できる
ChatGPT

R6.4



サービスデスク
QAbot

庁内のICT関連の質問に
特化したチャットボット

R6.9



Teams AI
channel

生成AIを活用した3つの
ツール
「やさしい日本語変換」
「QA生成」
「議事録作成」

R7.1



生成AI-OCR

全庁職員が手軽に
利用可能なOCR機能※

※紙帳票の文字等を読み取り、
電子テキスト化する機能

新規機能拡大 RAG Bot

区の情報学習したチャットボット（RAG Bot）の構築と検証

RAG Botとは… 事前に学習させた資料を検索し、その情報をもとに、生成AIが回答を生成するチャットボット。世田谷区独自の情報を学習させることで、職員の実務に即した内容について回答するチャットボットを作成することが可能。

構築と検証… 行経プランに基づく取組みとして、導入による効果が大いと思われる分野でのRAG Botの構築及び検証を実施する。検証の結果、業務効率化に大きく寄与すると判断されたRAG Botについては全庁公開する。

公開情報を学習したRAG Bot（体験版）を庁内展開する。

文書事務Bot



文書事務の手引きや文書事務規則に基づき、生成AIが回答。
文書の取扱いや起案時の疑問解消に活用できます。

※Teamsのチャットから利用

RAG Bot 文書事務Bot

機能

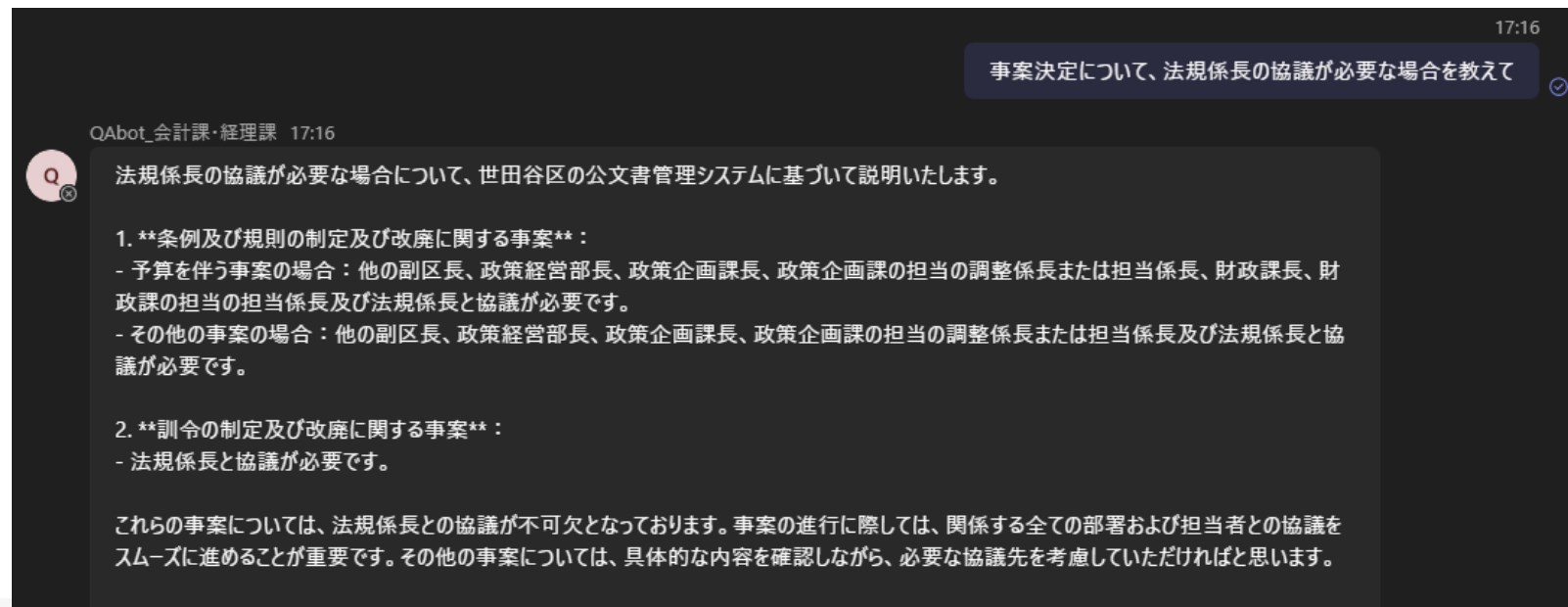
文書事務の手引きや文書事務規則から質問に関連する情報を検索し、生成AIが回答します。

学習させた文書

- ・ 文書事務の手引き
- ・ 世田谷区事案決定手続規程
- ・ 公文書説明会資料
- ・ 世田谷区公文書管理条例の解釈・運用に関するガイドライン
- ・ 公文書管理条例、規則
- ・ 重要公文書の評価選別に関する基準

利用例

- ・ 文書の取扱いや文書起案の疑問解消
 - 文書に公印を押す必要があるのはどういう場合か教えて
 - 事案決定について、〇〇の協議が必要なのはどのような場合か教えて



構築と検証について

導入の効果が大きいと思われる分野でのRAG Botの構築及び検証を実施する。

【検証予定】

- ・区の基本的な行政計画等を学習したRAG Bot（政策企画課）
 - －基本構想、基本計画、実施計画、行経プランなど
- ・区の防災、災害時対応に関する文書を学習したRAG Bot（災害対策課）
 - －地域防災計画、震災時職員行動マニュアルなど

※その他の分野についても、順次構築・検証を実施予定。

【進行イメージ】

